

社会科 1年生 学習計画と評価基準について

節	学習時期	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
世界と日本の地域構成	4月～5月	緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解している。	世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。	世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
世界の人々と環境	5月～6月	人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解している。また、世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解している。その際、世界の主な宗教の分布についても理解している。	世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。	世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
世界の諸地域	6月～9月	世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解している。また、アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州の各州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し理解している。	アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州の各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。	世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
歴史へのとびら	10月	日本の歴史の大きな流れや各時代の特徴に関する様々な資料を収集・読み取りをし、年表などにまとめる。身近な地域の歴史について適切に資料など情報を収集し、年表などにまとめている。	歴史的な見方・考え方「時期や年代」「推移」「現在のつながり」に着目して、小学校で学習した人物や文化財、出来事などが時代区分とどのように関わるか考察し、表現している。また、歴史的な見方・考え方「比較」「関連」や、時代的背景や地域の環境、歴史と私たちとのつながりに着目して、身近な地域の歴史の特徴を考察し、表現している。	身近な歴史や歴史上の人物、出来事などを調べたり考えたりする活動を通して、日本の歴史の大きな流れや時代の特徴に対して見通しを持ち、課題の解決に向けて学習しようとしている。
古代までの日本	10月～11月	世界の古代文明や宗教が生まれたこと、日本列島において人々の生活が始まり、やがて国家が形成されていった過程のあらましを、東アジアの動きと関連付けて理解している。	古代文明の特徴や宗教のおこり、日本列島における人々の生活の変化について、多面的・多角的に考察し表現している。	世界の古代文明や宗教のおこりへの関心を高め、古代までの日本の大きな流れに関する課題を意欲的に追究している。また、現代に残る古代の文化遺産に関心を高め、それらを尊重しようとしている。
中世の日本	12月～1月	武家政権の成立と武家社会の発展、諸産業の発達と民衆の成長、中世の文化の特色などを、東アジア世界との交流を背景に理解している。また、中世の政治の展開、経済の発達と社会の変化、文化の広がりに関する諸資料を収集・選択して、読み取ったり、図表にまとめたりしている。	武家政権の成立と武家社会の発展、諸産業の発達と民衆の成長、文化の特色などを、多面的・多角的に考察し、表現している。また、モンゴルの襲来、明や朝鮮との関わりなど東アジア世界との交流を、多面的・多角的に考察し、表現している。	武家政権の成立と武家社会の発展、諸産業の発達と民衆の成長、東アジア世界との交流に関する課題を意欲的に追究している。また、日本の伝統文化に対する関心を高め、今日に残る中世の文化や文化財を尊重しようとしている。
近世の日本	2月～3月	ヨーロッパ人來航の背景とその影響、織田・豊臣の統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎が作られたことを理解している。	ヨーロッパ人來航の背景とその影響からの課題、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係からの課題、また、武将や豪商などの生活文化の展開からの課題を見だし、多面的・多角的に考察し、表現している。	ヨーロッパ人來航の背景とその影響からの課題、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係からの課題、また、武将や豪商などの生活文化の展開からの課題を主体的に追及、解決しようとしている。
具体的な評価の方法		行動観察、パフォーマンステスト、レポート、単元テスト・定期テストなど	行動観察、パフォーマンステスト、レポート、単元テスト・定期テストなど	行動観察、自己評価、振り返りシート、レポートなど